

令和8年度

運営に関する計画

(目標設定)

令和8年4月

大阪市立大桐小学校

大阪市立大桐小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- これまで、自己肯定感を高める活動を、学年や学級等で力を入れて取り組んできたことで、同調査における自己肯定感に関する結果は毎年向上している。令和7年度は80%をわずかではあるが超えることができた。自己肯定感を育むことは、児童が様々な学習や活動に積極的に取り組んだり、前向きに生きる力を醸成したりしていくうえで、大切な要素と考える。今後も、あらゆる教育活動の中で成功体験を積む場を設けたり、児童一人ひとりが、他者との違いを良さと捉えられるような活動を工夫したりしていく必要がある。
- 地域の方々による子どもの見守り活動は盛んで、また保護者による安全当番の活動もある。それでも、遅刻児童や不登校児童がなくなるのが現状である。担任や担当が、個別に家庭訪問をしたり、区役所子育て支援室等と連携したりしているが、遅刻児童や不登校児童の割合は、改善されていない。引き続き該当児童の保護者や関係諸機関との連携を密にするとともに、ICT機器を効果的に活用するなどして、引き続き対応策を講じ改善につなげる。また、学校行事や学年、学級で魅力あるイベントを積極的に設定するなどして、登校のきっかけとなる場を工夫する。
- 学力向上は、本校の大きな課題となっていたが、令和7年度学力経年調査の学力に関する結果は、1学年が全教科において市平均を上回るなど成果も見られている。しかし、3学年においては、市平均を下回り、その内1学年は各教科2から4ポイント程度、市平均より下回る結果であった。また、令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合は、80.7%であった。市平均を上回った学年の肯定的な回答は他学年よりも高い割合であったことから、「話し合う活動」をさらに取り入れていく必要がある。
- 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(第5学年)の結果については、多くの種目で市平均を、そのうちいくつかは全国平均を上回った。普段の体育の授業の運動量の確保や駆け足タイムを実施したこと、休み時間の「みんな遊び」で外遊びの機会を増やすなどした成果であると捉えている。運動に関する児童の興味・関心がさらに高まるような工夫を積み重ねていく。
- 「授業でパソコンをどれくらい使っていますか」という質問に対して、週3回以上と回答している児童の割合は41.1%である。学習者用端末利用率が平均すると毎日80%程度あることから、授業での活用をさらに進める必要がある。学習者用端末を使ってどのような学習活動ができるか教材研究を深め、児童の知的好奇心や探求心を刺激できるようにする。
- 働き方改革については、令和6年度に余剰時数を大幅に超えて実施している授業時間を見直し、カリキュラムを再構築して取り組んだ。また、地道な業務効率化と会議の精選を実施した。教職員の時間外勤務も一定改善してきていたが、令和7年度には前年度に比べわずかに悪化した。今後はさらに工夫し、働き方改革を進める。
- 「読書は好きですか」という質問に対して、肯定的な回答をする児童の割合は61.8%で、学年が上がるほど低くなっている。読み聞かせ、ブックトークなどの活動を工夫して、読書に関する児童の興味・関心が高まるようにしていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

<安全・安心な教育環境の実現>

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和11年度の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より毎年減少させる。

<豊かな心の育成>

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

<誰一人取り残さない学力の向上>

- 令和11年度の小学校学力経年調査における、国語および算数の平均正答率の対大阪市比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より毎年向上させる。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

<健やかな体の育成>

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

<教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進>

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を90%以上にする。

<人材の確保・育成としなやかな組織づくり>

- 令和11年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

<生涯学習の支援>

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

<安全・安心な教育環境の実現>

- 令和8年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。【R7:84.6%】
- 令和8年度の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。【R7:4.6%】

<豊かな心の育成>

- 令和8年度末の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。【R7:80.9%】
- 令和8年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を84%以上にする。【R7:83.6%】

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

<誰一人取り残さない学力の向上>

- 令和8年度の小学校学力経年調査における、国語および算数の平均正答率の対大阪市比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。【R7:3年 国 97.3 算 96.5 4年 国 99.3 算 101.1 5年 国 99.2 算 97.3】
- 令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。参考【R7:80.7%】
- 令和8年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。【R7:86.7%】

<健やかな体の育成>

- 令和8年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。【R7:85.4%】

【学びを支える教育環境の充実】

<教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進>

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を75%以上にする。

<人材の確保・育成としなやかな組織づくり>

- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月22時間以下にする。

<豊かな心の育成>

- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を63%以上にする。【R7:61.8%】

3 本年度の自己評価結果の総括(最終)

※年度末に記入

大阪市立大桐小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した C:取り組んだが目標を達成できなかった	B:目標どおりに達成した D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
-------------------------------------------	----------------------------------------

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p><安全・安心な教育環境の実現></p> <p>○ 令和8年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <p>○ 令和8年度の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p><豊かな心の育成></p> <p>○ 令和8年度末の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。</p> <p>○ 令和8年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を84%以上にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>・児童同士の繋がりを深められるような、特別活動の充実を図る。</p> <p>指標 ・休み時間や学級活動でみんな遊びを週に1回以上実施する。</p> <p>・学期に1回以上、学校行事や学年行事を行う。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>・不登校傾向がある児童の登校支援を行う。</p> <p>指標 ・心の天気やミマモルメを活用し、欠席・遅刻・行きしぶりの児童について、スクリーニング会議で情報の共有を行う。</p> <p>・家庭訪問や電話連絡を積極的に行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>・学校生活全般を通して、体験的な活動を取り入れ、児童のよさを引き出す機会を設ける。</p> <p>指標 ・学期に1回以上体験的な活動を取り入れる。</p> <p>・キャリアパスポートを活用し、自己の振り返りに取り組む。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>・特別の教科道徳を中心にして、児童が「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」とする心情をはぐくむことができるように、指導実践の充実を図る。</p> <p>指標 ・学期に1回は、いじめについて考える学習を行う。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
【取組内容】について	
後期への改善点	
【年度目標】について	
【取組内容】について	

大阪市立大桐小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓くための学力・体力の向上】 <誰一人取り残さない学力の向上> ○ 令和8年度の小学校学力経年調査における、国語および算数の平均正答率の対大阪市比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ○ 令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。 ○ 令和8年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 <健やかな体の育成> ○ 令和8年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・朝の学習タイムを設定し、基礎学力の向上を図る。 指標 ・毎週火・金の2回以上、基礎学力を定着させることを目的に朝学習に取り組む。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・学習のめあてをもとに話し合う授業づくりを行う。 指標 ・各単元で1回以上は自分の意見や考えを話し合う場面を設定し、深まったことを振り返る。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・C-NETと綿密に打ち合わせをし、児童の関心・意欲を引き出す学習プログラムを工夫する。 指標 ・各Unitに1つ以上、児童が興味を持ち、積極的に学習に参加できるような教材を工夫する。 ・全学年イングリッシュ・タイムを週4回実施する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ・運動に親しみ、安全に気を付けて、意欲的に取り組める場を提供する。 ・自分自身の健康に気を配り、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 指標 ・週に1回以上はみんな遊び、学級活動を行う。 ・「なわとびタイム」「かけあしタイム」などの取組を計画的に実施する。 ・体育の授業の年間計画を学校全体で(学年を通して)計画し実行していく。 ・健康強調週間を年3回実施する。 ・栄養指導は各学年年2回、また毎月1回「食育の日」を設け、児童の意識化を図る。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
【取組内容】について	
後期への改善点	
【年度目標】について	
【取組内容】について	

大阪市立大桐小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p><教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。</p> <p><人材の確保・育成としなやかな組織づくり></p> <p>○ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月22時間以下にする。</p> <p><豊かな心の育成></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を63%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>・授業の中で学習者用端末を活用する方法を模索する。</p>	
<p>指標 ・月1回学年会で学習者用端末の効果的な使い方を共有する。</p> <p>・年に2回学校全体で活用方法を共有する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>・教職員全体で、業務や取組にかかわる作業等の効率化を図る。</p>	
<p>指標 ・ゆとりの日を週に1回設定・実施し、教職員が働きやすい環境を整備し、長時間勤務の解消を図る。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>・読書週間を設定し、児童が読書に親しめるようにする。</p>	
<p>指標 ・読書を朝の学習タイムで、週1回実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について	
【取組内容】について	
後期への改善点	
【年度目標】について	
【取組内容】について	